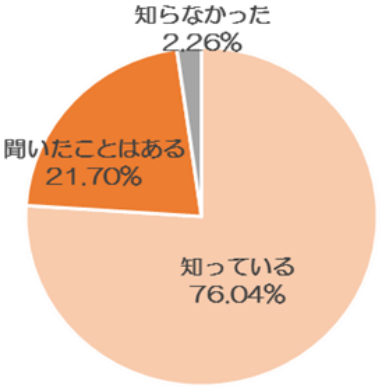
学校選択制度アンケート学校集計票（小学校）

問１　現在、お子様は何年生ですか

学　　年	回答割合	回収率
①　小学校５年生	35.30%	79.73%
②　小学校４年生	31.42%	72.29%
③　小学校３年生	33.28%	73.07%
	全体	75.03%

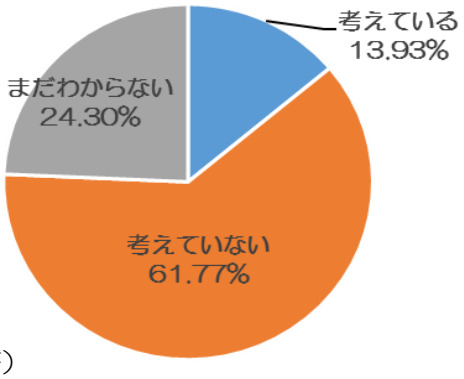
問２　現在、岩見沢市で行っている、学校選択制度を知っていますか

①　知っている	76.04%
②　聞いたことはある	21.70%
③　知らなかった	2.26%



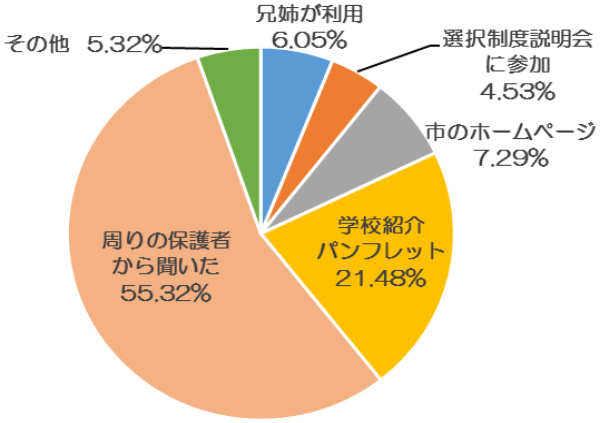
問３　中学校へ進学するにあたり、学校選択制度の利用を考えていますか

①　考えている	13.93%
②　考えていない	61.77%
③　まだわからない	24.30%



問４　学校選択制度を知ったり、聞いたりしたきっかけは何ですか（複数回答）

①　兄姉がこの制度を利用した	6.05%
②　学校選択制度の学校説明会に出席したことがある	4.53%
③　市のホームページ	7.29%
④　学校紹介パンフレット	21.49%
⑤　周りの保護者等から聞いた	55.32%
⑥　その他	5.32%



主な内容：学校からのプリント、新聞の記事、兄姉の進学時に聞いた、引っ越しの時に市教委等から聞いた

学校選択制度アンケート学校集計票（小学校）

問５　中学校へ進学するにあたり、優先的に考える項目として、何がありますか

	優先1番目		優先2番目		優先3番目	
①　家から近い	53.05%	1	17.97%	2	15.12%	2
②　友人がその中学校に通うから	7.90%	4	23.31%	1	19.54%	1
③　兄姉が通っているから	2.41%	7	12.11%	5	10.98%	4
④　指定中学校だから	11.44%	3	13.35%	3	9.99%	6
⑤　希望する部活があるから	3.91%	5	8.93%	6	12.84%	3
⑥　子どもが希望する学校だから	14.82%	2	12.83%	4	10.56%	5
⑦　学校の教育方針	2.33%	8	3.59%	8	5.56%	9
⑧　学校施設・設備が充実している	1.13%	9	3.80%	7	7.99%	7
⑨　生徒数が適当である	0.45%	10	2.67%	9	6.28%	8
⑩　その他	2.56%	6	1.44%	10	1.14%	10

主な内容：特別支援学級の様子、いじめ等がないか（学生たちの素行や評判）、学習環境が整っているか、親の母校だから、学力・上位高校への進学実績

学校選択制度アンケート学校集計票（小学校）

問６　学校選択制を運用していく中での、メリットとデメリットとして考えられる項目を以下に記載しました
あなたの考えに合う番号に〇をつけてください

メリットとして考えられること	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	そう 思わない
自ら行きたい学校を選べる	64.10%	29.41%	4.75%	1.74%
入学する学校の選択肢が広がり、保護者や生徒の学校教育への関心が高まる	39.79%	43.04%	13.84%	3.33%
子どもの個性や学校の特色によって学校が選択できる	46.82%	41.44%	9.47%	2.27%
学区外の地域の友人ができ、友人や人間関係のトラブル解消のきっかけになる	26.26%	37.74%	29.66%	6.34%
教育活動が活性化する	17.46%	41.72%	34.32%	6.50%
生徒や教職員の意欲が高まる	15.42%	40.66%	36.21%	7.71%
部活動が活発化する	31.04%	42.77%	18.77%	7.42%
通学上の安全が向上する	10.39%	19.35%	49.55%	20.71%
保護者や地域が学校の取組みに積極的になり、学校との連携が強まる	7.24%	30.66%	49.62%	12.48%

デメリットとして考えられること	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	そう 思わない
生徒数など学校間格差が広がる	60.62%	30.91%	7.26%	1.21%
うわさや風評により学校を選択するようになる	44.44%	40.04%	13.70%	1.82%
希望が集中した場合、理由に関係なく抽選となるので個別の事情に対応できない	46.47%	42.75%	9.64%	1.14%
学校の小規模化を助長する	44.57%	37.81%	15.72%	1.90%
地元等の友人が少なく周りになじめず、友人・人間関係のトラブルのきっかけになる	13.43%	33.76%	46.28%	6.53%
生徒の動向により部活動が停滞する	29.47%	42.58%	24.24%	3.71%
通学距離が広範囲になり、通学の安全確保に不安が生じる	41.92%	40.41%	15.26%	2.41%
保護者や地域が学校の取組みに消極的になり、学校との連携が薄れる	11.35%	32.60%	49.70%	6.35%
住んでいる地域の行事に参加しにくくなる	10.97%	25.61%	51.30%	12.12%

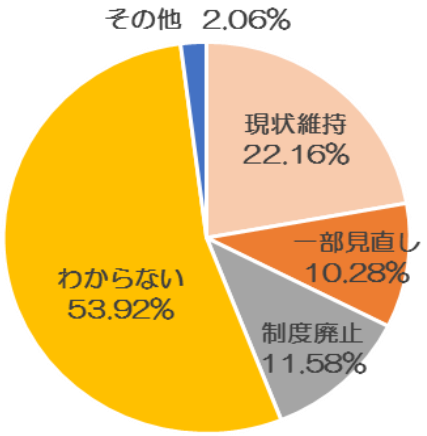
意見等（デメリット）

バランスの取れた教育と指導ができない
生徒数の多い学校では先生の目が行き届かず、面談等全て事務的になる

学校選択制度アンケート学校集計票（小学校）

問７　今後の学校選択制度に関するあなたの考え方に近いのは以下のどれですか。１つ選んでください

①　メリットが大きいので現状のまま継続する	22.16%
②　制度の一部を見直して継続する	10.28%
③　デメリットが大きいので、制度を廃止する	11.58%
④　どちらが良いのかよくわからない	53.92%
⑤　その他	2.06%



見直し案等

選択制を利用する理由を限定的にする
例：部活や学力での理由は認めない。特別な事情のみ認める（いじめ等で環境を変えたいなど） 支援学級の生徒のみ認める。
指定区域の見直し（例：同じ小学校は、同じ中学校に。など）、受け入れ人数の制定および制限、 抽選の廃止（作文などの選考に変更）、入学後の転校不可の廃止、小規模校への配慮など

意見等

必要とする家庭もあるので、継続して良いのでは
小中一貫教育との整合性がきちんとあれば、良い制度なので継続していっても良いと思う
一部の学校に生徒が集中し、その学校は生徒ひとりひとりに目が行き届いていない
制度を廃止して各小学校の児童全員が最寄りの同じ中学校へ入学する
よほどの理由がない限り、学校は自宅から近い所を選んだ方が良い。通学面でも小学校からの進学を考えても
学校規模が小さくクラス替えが９年間ない所などで、環境を変えたい児童にとっては良いと思うが、学校選択制度でなくても特例で良いのでは
人それぞれ違うと思うし、個人の自由だと思うので、何ともいえない
どのように見直したら良いのか、アイデアは浮かびませんが、生徒の偏りはどうにか改善しないと学校同士の差が広くなるばかりかと思います

学校選択制度アンケート学校集計票（小学校）

問８　学校選択制度について、ご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください

意見等（肯定的な意見）

特別支援学級に入りたい人は、選択制を利用できるよう考慮して欲しい
通っている小学校でいじめや馴染めない等があった場合は、選択制度は有効かと思う
不登校の子どもにとっては、全く新しい環境で一から頑張るキッカケになると期待している
人間関係のトラブルに陥った場合の穏便な解決方法の一つが、学校選択制だと思うので、この部分を今後も維持していけるよう望みます
理由が考慮されるなら（いじめなどや部活がない）、選択制があっても良いのかもしれない
いじめや地域との関わりで、この制度を利用するのは良いと思う
環境を変えたり、自分が頑張っている部活などが続けられなくなったりする人の為にも、続けてほしい制度
兄も選択制を利用していますが、メリットばかりです。６年間の環境をリセットしたい子から選択制を奪わないでほしい
部活と学業の理由で選択制を利用して、とても充実した学校生活を送る事が出来たので、続けた方が良い
スポーツなどで団体戦などで有利になるので、全国大会を目指しやすく、とても良いと思う
私の周りには、親として子どもを少しでも良い環境に置きたいと思い、制度を利用した方たちがいました。今の少子化の時代に地域によって出来る事に差が出来てしまうのは、仕方のない事と思います。でも、この制度によって救われる子どももいるので、何かもっと良い形で継続してほしい
岩見沢市の特色を捉え、良い方向に選択制を継続してほしい

意見等（否定的な意見）

本当に特別な理由以外は受け入れない方が、という気持ちが大きい
逃げなければならない深刻ないじめでない限り、１つの場所での人間関係の問題の乗り越え方を、保護者も教師も生徒も考えて成長しなければいけないと思うので、選択制度が良いものだと思えない
いじめ等は別として、学力に差がなければ、この制度はそこまで必要がない気がする
いじめ等の理由があって、学校を学区外に求めるなら納得するが、成績・部活で学校を選択するような制度は止めた方が良い
部活動のために学区外の中学校を希望するのは、選択する利用としては稚拙な気がする
部活動で選択する事を耳にする。そうなると学校単位での偏りがかなり出てくるので、不公平。しかし、今さら元に戻しても不公平。部員が少なく初年度はチームが組めないなど、始めからすべき事ではなかったと思う
学校選択制度が出来た事により、部活動の偏りが生じたのだと思う。できれば廃止し、徐々に学校間の偏りを無くしていってほしい
もっと慎重に選択制度を実施すべき。部活動が沢山あるからは選択の理由にならない気がする。本来、子どもは自分の足で通学するのが望ましいので、昔に戻した方が良い
小中連携と言いながら選択をするのなら、同校区の連携は意味がないのではないか
コミュニティスクールの意図と選択制度が合っていない。生徒数が少ない学校と教育活動の学校間の差が生まれてしまうので、廃止を考える時期に来ている
学区が決められているのに、選択できる制度にすると偏りが感じられ、バランスの取れた教育には推進していかないと思う
学校間の格差が大きすぎる。何のための学区なのか、特別な事情がある場合を除き廃止すべき
１つの学校に生徒が集中するのは問題だと思う
小さな学校にとっては、存続の危機さえも感じるほどの影響がある、この制度について廃止・見直しが早急に必要だと思う
学校別に生徒数の増減が多くなるので、義務教育上ではこの制度に反対
大反対です。義務教育はある程度きちんと平等でなくてはいけないと思います。

学校選択制度アンケート学校集計票（小学校）

中学校までは義務教育なので、市立である以上は高校の様なランク格差は必要ないと思う。良い学校・悪い学校と区分される様で、学校選択制度は反対です
市内全体として、子どもの人数もいない、やりたい部活もない、だけど家庭の事情で他校に行けず我慢している子の気持ちに寄り添うべき、この制度を早く止めてください

意見等（その他の意見）

同じ小学校から、みんな同じ中学校に上がれるように校区を考えてほしい
小中一貫教育との整合性について、しっかりと理解した上で、学校選択制度のやり方を決めてほしい
選択制を実施するのであれば、校区域制を残す意味が分からない。中途半端に感じてしまう
学校格差が生じるし、どの区域の学校にも教育は一貫してほしい。ブレこそ教育への不信感になると思う
選択先の偏りや集中、地域間のアンバランスが生じているのは、再編・統合の必要性があるという事、学校選択制度の見直しではなく、再編・統合の問題として検討すべき
メリットもデメリットも両方あるとは思いますが、本当に選択制度が必要なのか、今一度、検討されては良いのではないか
それぞれの学校にしっかりと特色があり、学校全体の質が良ければ、デメリットの項目にある学校間格差が広がる事はない気がする
選択するのは個人の自由だと思うが、校区の中学校に魅力を感じられないという事は問題だと思う
市内の学校の活動・部活のバランスが悪い。不平等。制度を使う生徒は、誰でも選択できるようにせず、面接や作文などの方法を考え、受け入れの判断をしたら良いと思う
少なくとも選択制を無くすなら、３，４年前には公表してほしい
中学校だけでなく、小学校も選択制度にするべき